全国ダンス・表現運動授業研究グループ　平成25年１月例会記録

平成２５年１月１３日（日）於：お茶中

出席者　ＷＧ　中村恭　山下　栗原　宮本　君和田　熊谷　笠井（記録）

　　　　午後　浅川　芳尾　松田　勢畑（記録）

**１．合宿についての午前中の検討の報告（笠井）**

＜「お誘い」の変更点＞

・会費：3000円　（学生は2000円）として掲載する。

・ちらしに時間を記入　→　見通しがもてるように。

・会場の記載：小学校・中学校の順。

・テーマを記載するところ：「記」の下部。

・「明日からトライ！」」の本を持参してもらう。（販売：地方は２０００円…今年度中は**２２００円**）

・ＤＶＤは売れないので今年からは**作らない**。（文章を入れる）

＜仕事分担＞

＊1日目AM：開会式と司会（中村恭子）、課題学習の解説（宮本）

＊1日目PM：進行・w.u.（中村なおみ）、夜：懇親会の進行（浅川）（松田）

＊2日目AM：進行（津田）

・「ウォーミングアップ」は4人で10分間ずつ　幼（笠井）、小（山下・浅川）、中高（松田）

・「リズムダンス・現代的なリズムのダンス（はじめての単元）」は、中高チーム複数人数で担当（宮本）

＊2日目PM：進行（笠井）

・発達段階別研修：内容説明（君和田）、資料作成準備等（山下）・・サインペン

・発達別のリーダーは、幼小（栗原）、中（熊谷）、高（藤田）、大（中村恭子）

＜会場＞

＊１日目＆２日目の午前がお茶小・２日目の午後がお茶中

＊更衣室の確保（附属中）を検討中

＜内容＞

＊発達段階別研修「イメージと動きを結ぶ言葉かけ」の　今年度テーマ「生きている地球」

→大枠の四季、天気、恵み、脅威などのヒントから、イメージを出し合う。今回も縦割り交流会つき。

（昨年は「夏」から「花火」で発達別の言葉がけの違いを学ぶことができた）

＊高野章子先生や島内敏子先生、松本富子先生に総合的に見てもらい最後に意見をしてもらう。

＜その他＞

＊名簿の取りまとめ（熊谷）

＊受付に5冊の「明日からトライ」を見本に置く。販売予定の本を大修館から取り寄せる。

＊名札のガムテープ（熊谷）、ファイル4色（笠井）が用意。

＊レジメ付きの記録用紙を用意（君和田・藤田）

**２．報告・連絡**

①松本千代栄先生のお誕生日（１月１日）満９２歳おめでとうございます！授業研からお花をお贈りしました。

②栗原先生　第75回教育実際指導研究会　2／21，22（忍者、体ほぐし・4年生）　両日午前中

③浅川先生　教師道場発表会（具体的な生活からの題材・４年生）2／22　荒川区立汐入小学校　13：35～

④勢畑先生　第40回　体育実技研究発表会　2月10日（日）　江東区ティアラこうとう　9：45～17：00

**３．講義**

**１）熊谷先生　「中学校のダンス　グループ活動から学習者が得るもの」**

　　　担任の経験から、ダンスの授業をやっていても作品を創ることの指導より、グループ学習を円滑に行わせることに腐心していた。→　ダンスのグループ学習によって得るものは？（女子体育への投稿から）

生徒の感想文から

①友人が増える

②モデリング（他の良いところを参考にして自分の力を伸ばそうとする）

③強化（認められるという自覚が次の活動へのエネルギーになる）

効果的なグループ活動のために

①グループの人数…段階的に人数を増やしていく

②組み方…パートナーチェンジ、偶発的な出会い　→　程よい緊張感、新しい発見

③活動内容のレベル…簡単なもの　→　難しく　…次の時間への動機付けに

学習者の問題意識をいかす

①グループ活動の目標を口頭で掲げる　→　問題意識を持って活動できる

②生徒の感想文を取り上げてコメントを返す（プリントでも）→自分たちでグループの苦境を乗り切る力に

③社会から求められる「グループディスカッション」に必要な力

（ダンス授業ではどのような言葉で引き出しているか）

　・一人一人の意見を聞く（○○さんはどう?　出された意見は動いて）

　　・積極的に発言する（一人1つは意見を、行き詰まったら“やってみよう”）

　　・細部にこだわりすぎない

　　　　　　・時間配分する

　・リーダー争いを防ぐ

　・ネガティブチェックに気をつける

★ダンスの授業でのグループ活動は、ディスカッション能力を育てる！

意見・感想

＊テレビ番組でみた、偉い先生の提言と同じ　…　アイデアを掘り起こし、お互いを高めあう営み

＊グループ学習にすっと入っていく様子をほめられた…ダンスをやるうちに自然にできるようになっていたことに気がついた。

＊生徒の感想をフィードバックしているところがすごい。教員が願っていることが具体的に理解できる。

中間まとめなどで、こういうプリントを出してあげると、グループ活動がさらに良くなるだろう。

＊高校生は精神的に少し大人だから、ドンドンできていくが、中学生で人間関係が難しい場合もあり、

上手く組めなかったり教員の方で気を使ってあげる必要がある。

＊グループ活動時目標として提示されているのが分かりやすい。

**２）山下先生　　学習指導案の検討（公開授業　１月２１日（月）13：40～）**

表現運動「表現」～忘れない・東日本大震災

　　　※勤務校の様式で作ったので表現の指導案として妥当かどうかわからないが見てほしい

　　　※研究授業をやっても、誰も意見やアドバイスをくれない

1．導入学習材…ウォーミングアップ（1つの曲の中で）

・エアー縄跳び（八の字）、走ってタッチ、リーダーに続け、Ｂ‘ｚになりきろう（エアーバンド）

2．課題解決学習材　～忘れない東日本大震災

　　1時間目：地震（走る－跳ぶ－転がる）

　　2時間目：津波（集まる－広がる－ぎゅっと集まる）

　　　3時間目：復興（伸びる－縮む）…　ここがどんな動きが出てくるのか、迷っている

　　　4時間目：祭り（初め－中－終わり）

　　　56時間目：以上をつなげて、1つの作品に（卒業作品）

　　※音楽はなくていいかと思っていたが、あった方が良いというアドバイスもありどうしたらよいか。

　　※指導言語　オノマトペを活用して

　　※毎時間、前時間の復習を行ってきてから行う

アドバイス

＊本時：各運動課題を一度復習して、身体で思い出させてからイメージ課題にすると良いのでは?

＊４つの場面のメリハリがないので、「復興」のところをもう少し静かな場面を入れたらどうか。

　津波で何もかもが無くなって、みんなが平らになっているところから「復活」「心の伸び縮み」「工事の機械の伸び縮み」「ビルがだんだんできあがる」「倒れた木から木の芽が芽吹く…」など

＊高学年で表現をやったことのない先生方にとっては、運動課題から入るやり方は分かりやすいだろう

**４．実技**

**１）君和田先生　「リズムを使ったウォームアップ（アイスブレイク、ゲームみたいに）」**

①1人でジャンプ　～2人で　～3人で　～4人で　～5人　と増やしていく

スタートの区切りにもどる（割り切れる）まで…　区切りの人が分かるように

男女共修の授業で実施　練習5～10分　みんなで10分（ＨＲのレクなどでやると良い）

②リズムを刻む　～身体の動きを足す　音がしなくてもいい

先生のリズムで（板書）　｜♩ ♫ ♩ 　♩ ｜♪♩　　　♪♩| 　タンタタタンタン，タタ―――ンタン

　→　2人組で刻むリズムを作る　　→　2つに分けて発表

　→　音符を分担して　順に動きをつなげていく

　＜討議＞

＊頭使うから、大変　　→10人以上でやるとちょっと考える時間がある

＊リズムに乗るって言うより、リズムを作っていく

→　オリジナルのリズムだとだれるから、課題は決めていいかも

→　分担しないで　一人でやる方がいいかも（リズムに乗るではなくなる）

→　リズムの違いが動きの違い、メリハリの練習にもなる

　　　→　音符を見るのも大切、口で歌ってあげるのがよい

　　　→　イメージをかけて「猫のリズムで」「お化けのリズムで」

　　　→　部活的

　　　→　リズムからはいる現代的なリズムの課題として考えてもらったが、創作だ

　　　→　「変わったリズム」でリズムの課題ってできないか、と思って考えたらこうなった

　　　　（タタ～～ンのところが、創作的）

　　　→　現代的なリズムのダンスの「次」に来る課題

　　　→　ボディーパーカッションでオリジナルを作って発表までもっていくという１時間ものを…

　　　→　決まったステップなどに挑戦して達成感はあるし、リズムからでも創作らしくなる

　　　→　「現代的なリズムのダンス」には創作的なことは一切求められていない

　　　→　でも、既成のステップができるようにする、ということもない

　　　→　リズムから入っても、結局イメージかかってしまう　イメージある方が、どんくさい子はやりやすい

　※宿題：新しい課題を探せ！！

**２）宮本先生　「リズムに乗って踊り続けよう」**

1．（ヒップホップ）先生の基本のリズムをやってみて、２人組になったら自由にやる

　　　　パーケン……チョキケン……

2．ロック（ビートイット）

①座って…8ビートでアップ、ダウン　、手の上げ下げ、オープンクローズ、パンチなど

　　　立って…おへそが動く、アップ、ダウン、

移動しながら…マイムのステップ、手もつけて、他の場所でビートを取る

②２人組で色々な動きを見つける

　　↓

③ひと流れ

8×2　エイトビート

　　　8×1　16ビート　超高速　　　　座って練習　→　立って練習へ

　　　8　ストップ

　→　まずノリノリでやって、次の段階で　動きのキレを強調する（動きは極限まで）

　→　ポーズのところでメリハリにする

　→　そのために、座ってやる試しのところで、メリハリのきいたポーズを練習しておく

3．床を使って（ビリージーン）

　　①色んな床を使った動きをやってみておく　→　2人組、リーダーに続けで床移動

　　②低い姿勢でウエストサイドストーリーみたいに指を鳴らして歩く）→　床移動　→　ポーズ2つ

　　③床で回る、2人組で回す、どちらかが土台になってポーズを助けるとか、逆立ちしてポーズ

　　　　黒子になってもらう　　色んなパワームーブをちょっと練習してみたりする

　4．発表　2人組と2人組で見せ合う　←　全員で円になってバトル形式も良い

＊ＤＫＷをどうするか

ヒップホップはおへそで踊ろう、ダウンで決めよう、ノリノリダンス、

ロックはビートを刻んでメリハリダンス　（動きはキレキレ　ポーズはメリハリ）

連絡事項

　●次回月例会　２月２４日（日）（１７日から変更になりました）

１３：００より　お茶中にて　（WGは１１：００から）

内容：合宿発達別研修「生きている地球」の各部会別検討

　　　実技・合宿担当者W-up，リズム　など

月例会を欠席される場合は　中村恭子先生へ連絡お願いします

　　　●3月例会　3月20日（祝）13：00～　会場未定